

陽だまり

夏
2021 101号



ドクターヘリを利用した緊急搬送の場面
救命救急センターの実習生たちが見学しました。

当院の基本理念と基本方針

基本理念

最新最高の医療を、安全に提供する公的医療機関として能登全域の住民の健康を守ります。

基本方針

- 1 患者の皆さまの立場を第一に考えた医療を目指します。
- 2 たゆまぬ研鑽をとおして医療水準の向上を目指します。
- 3 最良でより高度な急性期医療を目指します。
- 4 医療機関との連携を密にして地域医療の推進を目指します。
- 5 公的病院を堅持しつつ健全な病院経営を目指します。
- 6 チーム医療に徹し、全職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

新型コロナウイルスワクチン ～Q&A～

感染対策委員会

和田 英男



Q1 どの会社のワクチンが一番効果がありますか？

現在、日本ではファイザー社と武田/モデルナ社のワクチンを接種できます。有効性については、いずれのワクチンも海外で数万人単位の大規模な診療試験が実施されており、発症予防効果は、ファイザー社のワクチンが約95%、武田/モデルナ社のワクチンが約94%と、高い効果が確認されています。

Q2 変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか？

一般論として、ウイルスは絶えず変異を起こしていくもので、小さな変異でワクチンの効果がなくなるわけではありません。また、ファイザー社や武田/モデルナ社のワクチンでは、変異株の新型コロナウイルスにも作用する抗体がつくられた、といった実験結果も発表されています。

Q3 ファイザー社のワクチンと、武田/モデルナ社のワクチンの安全性には違いがありますか？

ファイザー社のワクチンと武田/モデルナ社のワクチンは、いずれも臨床試験で安全性を確認した上で承認され、世界各国で接種されています。接種後の主な副反応として、いずれのワクチンも接種部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉痛、悪寒、関節痛等が報告されています。異なる臨床試験の結果を単純に比較することはできませんが、武田/モデルナ社のワクチンの方が副反応の発生頻度が5～20ポイント程度高く報告されているほか、接種から1週間くらい経った後に、接種した場所の痛みや腫れなどがみられることが報告されています。こうした症状の大部分は接種後数日以内に回復しています。

Q4 アナフィラキシーではどのような症状がでますか？治療法はありますか？

アナフィラキシーとは、薬や食物が体に入ってから急激に起こる強いアレルギー反応です。じんま疹などの皮膚症状、腹痛や嘔吐などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状などが急に起こります。血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合をアナフィラキシーショックと呼びます。予防接種後にアナフィラキシーを発症した場合には、まずアドレナリンの筋肉注射を行います。アナフィラキシーに対応できるように、接種会場ではアドレナリンなどの医薬品を準備しています。

Q5 持病のある人でもワクチンは接種できますか？

慢性的な病気のある方もワクチン接種ができる場合が多いですが、持病の状態にもよります。病気によっては接種を慎重に検討した方がよい場合がありますので、かかりつけ医とご相談ください。

Q6 ワクチンを接種した後もマスクは必要ですか？

ワクチンを接種した人から他の人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。引き続き感染予防対策を継続して下さい。

Q7 ワクチンは絶対にしないといけないのですか？

ワクチンは強制ではありません。ワクチンの利益と不利益を十分に理解した上で最終的にはご本人が判断すべきです。ワクチンは他人や社会のために接種するのではなく、あくまでも自分のために接種するものです。

Q8 ワクチンについて相談したいとき、どこに相談すればよいですか？

自治体の窓口やコールセンター、かかりつけ医などにご相談ください。



しみの原因には老人性色素斑、肝斑、雀卵斑など様々なものがあります。レーザーや内服治療などもありますが、当院では主にIPL治療とZO SKIN HEALTHを用いた治療を行なっています。いずれの治療も能登地区での取り扱いは当院のみとなっています。

①IPL治療

「光治療」あるいは「フォトフェイシャル」とも呼ばれ、特殊な光を肌に照射する治療です。当院では、昨年ルミナス社製の「フォトフェイシャルM22」を新たに導入いたしました。

照射により、しみの原因となるメラニン細胞に強い熱損傷を加え、しみの色素が分解・排出されることでしみが改善されます。また、その熱作用により真皮コラーゲン増生を刺激し、小じわの減少、毛穴の開きや肌のハリ改善などの"skin rejuvenation（皮膚の若返り）効果”もあります。

照射時の痛みはほとんどなく、麻酔も不要で、ゴムで弾かれるような軽い刺激を感じる程度です。肌へのダメージが少ないため、終わってすぐに洗顔やメイクをすることができ、ダウンタイムがほとんどないことが最大のメリットです。マイルドな治療であるため、ある程度の治療効果を得るためには複数回の照射が必要にはなりますが、治療の手軽さから希望される方も多い治療法です。

上眼瞼には照射できないことや、肝斑に照射すると増悪をきたすため適切な診断が重要となります。

②ZO SKIN HEALTH（ゼオスキンヘルス）

Dr.オバジにより開発された医療機関専売の化粧品（ドクターズコスメ）です。

様々な使い方がありますが、最も有名なものが「ハイドロキノン」と「トレチノイン」を用いた積極的な治療（セラピューティックプログラム）になります。トレチノインが表皮のターンオーバーを著明に早め、新たな肌に生まれ変わると同時にメラニンの排出を促します。これにメラニン産生を抑制するハイドロキノンを組み合わせることでしみを改善することができます。トレチノインを使用するためレチノイド反応と呼ばれる赤み、皮剥け、つっぱり感などの症状（いわゆるダウンタイム）が約4-6週間出ます。この期間を乗り越え、しみやくすみが薄くなって透明感が出るとともに、肌のハリが出て毛穴や小じわも目立たなくなってきました。

写真は当院でセラピューティックプログラムを行なった症例です。ダウンタイムはあるものの、その治療効果は大きく攻めのスキンケアとも言われます。セラピューティックに比べると効果は劣りますが、ダウンタイムの比較的少ないマイルドな使い方も可能です。

これらの治療を、しみの性状だけではなく、患者様一人ひとりの希望やライフスタイルに合わせて適切な治療法をご提案させていただきます。しみについてお困りのことがあれば、一度当院形成外科外来にお問い合わせください。

『しみの治療』について

形成外科・
美容外科医長

島田 良浩



IPL 治療
フォトフェイシャル M22

写真：ZO SKIN HEALTH 治療例



治療前



治療後

ZO SKIN HEALTH



【お問い合わせ】
公立能登総合病院
B ブロック 形成外科外来
Tel (0767) 52-8703



コロナ禍の今こそ、 救急車の適切な利用を！

～救命救急センター運営委員会～



現在、当院は新型コロナウイルスの流行下においても、三次救急を断ることなく救命救急センターの役割を維持できております。ひとえに能登地区の皆さんが日頃から感染対策を行っている賜物と考えています。そういった現状で、「不要・不急の外出を控える」ことは重要ですが、厚生労働省はホームページで医療機関への過度な「受診控え」によって逆に健康上のリスクが上昇すると注意喚起を行っています。受診控えによる内服中断もさることながら、救急要請が必要な病態にも関わらず受診を我慢することで、気付かないうちに全身状態が悪化して死に至るケースが多数存在します。今回はいくつかの例と発熱時の救急要請などを紹介します。

Case1: 突然、左肩とあごが痛くなり、冷や汗も出てきて20分経ってもよくなりません。



このような主訴で整形外科を受診されることもあるかと思います。左肩・背中・首・あごの痛みの他、「歯茎が浮いてきた」といった訴えが、実は心筋梗塞だったということがあります。これは「放散痛」や「関連痛」と呼ばれる、内臓知覚神経の混乱による原因部位とは離れた部位に痛みが起こる現象です。「冷や汗をかいた」「5分・10分待ってもおさまらない」というのも心筋梗塞の可能性を想起させます。典型的な突然の胸痛・背部痛とは異なるため、救急車を呼ぶほどでもないと思っていると、急速に全身状態が悪化し突然死するといったこともあり得ます。

最近では救急隊到着時に緊急性を判断して心電図を記録し、当院などへ伝送することで、心筋梗塞の診断およびカテーテル検査・治療の時間短縮ができるようになっております。迅速な救急要請が救命率を上げます。

Case2: 生まれて初めてのぜんそくが起きて、横になると余計に息苦しい。

今までぜんそくと言われたことがない方が、気張ったりした後から突然ぜんそくの症状が出現して、横になって休もうとすると余計に息苦しくなるといった時は、迅速な救急要請が必要です。なぜなら、「気管支ぜんそく」と呼ばれるぜんそくではなく、突然の血圧上昇に伴って心臓のポンプ機能が急速に低下し、肺から血液を吸い上げる力が低下することでうっ血が生じ気管支を圧迫する「心臓ぜんそく(＝急性心不全)」の状態だからです。

過去に心臓病と指摘されたことがなくても、高血圧症を放置していた方に起きることもあります。この場合に泡状のピンク色の痰を伴うこともあります。このような場合であっても救急隊の初期対応(酸素投与等)で助かる命がたくさんあります。

病院へ到着後、胸部レントゲン写真にて肺うっ血の存在が確認できれば、ただちにバイパップ(BiPAP)と呼ばれる息を吸う時と吐く時とで肺内へ送り込む空気圧を調節できる機能がついた酸素マスクを装着し、「ぜんそく」の症状が即座に改善されます。一刻も早い対応が求められる病気です。



Case3: 生まれて初めてのめまいが起きて、ふらふらして歩けない。



「めまい」というと、耳鼻科の病気と思う方もおられるかと思いますが、小脳に脳梗塞・脳出血などが起ると「非回転性＝浮動性」のめまいという形で平衡感覚障害を来し、このような症状を訴えることがあります。ただ、天井がぐるぐる回る「回転性」めまいだからといって脳梗塞ではないとは言い切れません。脳梗塞により三半規管からの神経障害を来し、「回転性」めまいを生じることがあります。

どちらにしても、経験のない初めてのめまいを来したら、緊急治療を要する脳卒中が隠れている可能性があります。

発熱時の救急対応とコロナウイルスの検査はどうなっていますか？

発熱時は、コロナウイルスが心配されますが、それ以外の細菌性肺炎・髄膜炎・腎盂腎炎など発熱症状の病気は多岐にわたります。そしてこの時期に一番心配なのが「熱中症」です。吐き気、頭痛、意識がもうろうとする、けいれんしているなどといった場合には冷却・水分補給だけでは対処できないケースが多いため、迅速な救急要請を要します。

当院では、救急搬送の発熱患者がコロナウイルス陽性かを迅速判定するために、「ID-NOW」という遺伝子検査が可能な機器を使用しています。約10分で陽性が判定することができ、PCR検査と遜色ない結果が得られます。そのため、当院へ救急車で搬送となった場合、救急車内でこの検査を行い、陰性を確認後に採血・採尿・レントゲン・CTなどの追加検査を受けることになります。

発熱に加え、意識がもうろうとする、頭痛・腹痛を伴う、尿が少ないといった症状を伴う時は、ためらわず救急要請をしてください。また、糖尿病・肝臓病・心臓病・がん・膠原病などの持病がある場合には、かかりつけ医へ相談してください。



写真:10分でPCR判定できる機器「ID-NOW」

全国版救急受診アプリ「Q助」を利用しましょう。

今までも「不必要な受診・不必要な救急要請」が問題となりました。不必要な救急要請で本当に必要な方への救急出動が遅れるといった事例が発生するためです。救急車を呼ぶべきか迷った場合に参考となるツールとして、総務省消防庁が開発したアプリ「Q助」を紹介します。症状などを選択していくことで、分単位で病態が増悪する可能性がある「赤（緊急）」・2時間を目安に病態が進行する「黄色（準緊急）」、時間的に余裕があり自力での受診を推奨する「青色（低緊急）」、医療を要しない「白色（非緊急）」に分けられます。今回紹介した3つのケースは全て「赤（緊急）」に該当します。

救える命を確実に救うためには、緊急度に応じた救急医療を提供することが重要です。コロナ禍の今だからこそ、限りある資源である「救急車」「救急医療」を上手に活用しましょう。



図：全国版救急受診アプリ「Q助」結果画面



～感染管理認定看護師は 今日も走る!!～



当院には、感染管理認定看護師（研修修了者含む）は3名います。昨年からのCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）に関係する仕事量が膨れ上がり、日々走り回っています。今回は、感染管理認定看護師の活動内容について、ご紹介します。

感染管理認定看護師とは、日本看護協会が国民への質の高い医療の提供を目的に運営している資格認定制度で、所定の研修を修了し試験に合格した看護師です。当院では、1名は専従、2名は病棟・外来で勤務しています。平時より看護職だけでなく、病院内で働くすべての職員に対して感染予防の知識・技術の指導をしています。

COVID-19の対応は、院内・院外と多岐にわたります。専従の1名は、COVID-19疑いで検査のため来院する患者さんと保健所との調整を、入院患者を受け入れる時は、患者さんとの調整、対応する職員への連絡・調整等を行います。電話は鳴りっぱなし、いつも話中で喉はカラカラ、声がかれるほどになっています。さらに、ワクチンの住民接種に関しては、七尾市・中能登町から依頼を受け、会場運営の助言、薬剤師会主催の研修会にも講師を依頼され、ワクチンの準備や充填に関する指導をしています。当院のワクチン接種でも事務職員と共に、住民の皆さんがスムーズに接種できるよう取り組んでいます。



ワクチン接種の様子

COVID-19だけでなく、国内・外で発生する様々な感染症の発生状況について情報収集しながら、病院として取り組んでいかなければならないことは何か考え、情報発信しています。また、昨年度から、石川県看護協会の事業である、高齢者施設等への感染症対応力強化事業の講師として直接訪問し、マスクやガウン着用・手洗い等の正しい方法について体験を通して学べるよう支援しています。

病棟・外来で勤務している2名は、クラスターが発生している病院等へ、県からの要請によりクラスター支援班あるいは看護支援として現場での指揮・技術指導・職員のメンタルサポート・看護業務の実践をしています。クラスター班としての活動は、消火活動で例えるなら、消防隊の先頭で鎮火・消火のためにあらゆる手立てを講じることに似ています。刻々と情報が変わる中で混乱する施設長をはじめとした皆さんへの支援は簡単ではありません。災害支援と同じく、知らない方々とのコミュニケーションを取りながら、自分自身の役割を理解していただき、専門的な知識・技術の実践を通して、働く皆さんにとって、安全と安心を提供するために尽力しています。

クラスター発生した施設の職員の皆さんは、突然のクラスター状況に不安や緊張・戸惑いながら、自分の本来の役割以外の仕事をしているケースが多々見受けられます。さらに、迅速な対応が必要ということもあり、休日返上で働き続けている場合があります。そのような、疲労困憊するスタッフの姿をみて、1日でも早く収束に向けて支援をしたい、という強い気持ちで感染拡大防止のために頭も体もフル回転で働いています。

所属部署で勤務する際は、感染予防行動を自ら手本となるよう実践しています。さらに、日々の業務の中で関係する他職種の行動が、患者さんにとって感染予防として安全なのか、確認しています。日夜、業務上起こりうる感染リスクを考え、注意喚起の必要性を検討し、病院全体への発信に繋がっています。全職員対象ですので、時間と労力がかかりますが、根気よく粘り強く、職員個々が感染防止行動を確実に実践できるよう取り組んでいます。

皆さん一人ひとりの感染予防行動、マスク着用・手洗いの実践は、自分だけでなく自分の周りにいる人を感染から守ることにつながります。暑い日のマスク着用はつらいですが、手洗いと併せて熱中症予防のため水分補給をしつつ感染予防行動をお願いいたします。



採血検査の受付方法が変更となりました。

採血室での待ち時間の短縮と採血順番をわかりやすくするため、自動採血受付機を導入しました。これまでは、受付職員が受付対応し、呼び出しはマイクで行っていました。

変更となってからの新しい受付方法は、下記①～③のとおりです。

- ①正面玄関で発行された受付票のバーコードを機械で読み取る。
- ②発行された採血番号カードを受け取る。
- ③採血番号カードの番号が電光掲示板に表示されたら採血室に入室する。

※注意：採尿のみの方は、直接職員にお声かけください。



写真：自動採血受付機

採血番号が電光掲示板に表示され、順番がわかりやすくなっています。自動採血受付機の導入により、業務が円滑化され、待ち時間の短縮に繋がっています。

また、これまでは呼び出しの際に席を外されていた方は、呼び出しがあったかどうかを確認できないため、職員に直接問い合わせるしかありませんでした。しかし、今回からは電光掲示板の下に【呼出済】○番と1度呼び出された採血番号が表示されますので、お手持ちの番号が表示されていたら受付職員までお声かけください。なお、受付のサポートはこれまで同様に8時から対応いたします。

当院では、特に火曜日・水曜日に混雑し、待ち時間が長くなりご迷惑をおかけしております。待ち時間が短くなるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

内視鏡外科学会の認定を受けました。

当院外科の石黒医師が、能登地区の医療機関に勤務しながら申請した医師としては、初めて日本内視鏡外科学会の技術認定制度による認定を受けました。この制度は、腹腔鏡手術において、高い水準の手術を行い、後進を指導するうえで十分な技術を持つ医師を認定する制度です。年1回審査が行われ、認定率25～30%という、かなり厳しい試験です。石黒医師は大腸癌手術の部門で申請を行い、認定を受けました。

また、石黒医師は、現在手術支援ロボット「ダビンチ」による直腸切除術の導入に向けた準備を行っています。9月上旬から一部の患者さんを対象にロボット手術を開始し、徐々に対象を広げていく予定です。

今後も最良でより高度な医療を提供できるよう、職員一同スキルアップに努めてまいります。



写真：外科 石黒医師



手術支援ロボット「ダビンチ」

「今回、認定を受けることができ、非常にうれしく思っております。これからも、地域住民の方々のお役に立てるよう頑張っていきたいと思います。」

再来受付機は予約時間の90分前からの受付です。

再来受付機の受付開始時間が予約時間の90分前からとなっております。予約時間の90分前より早く来院しても診察受付ができませんのでご注意ください。

ご来院の際は、予約時間をご確認のうえ、お越してください。

外来診療予定表

診療担当医が変更になる場合があります。希望される医師がある場合は、電話にてご確認の上、ご来院ください。 (2021.8.1)

受 付	診察室	月		火		水		木		金			
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後		
受付 A 1 Tel52-8702	外科 1	大学医 呼吸器/腫瘍	手 術	石 黒	手 術	徳 楽	手 術		手 術	古 谷	手 術		
	外科 2	古 谷		橋 本				徳 楽		石 黒			
	外科 3	守 友		守 友		大学医 呼吸器/腫瘍		守 友		心臓血管外科 第1.3金曜			
	歯科口腔外科	長 谷	手 術	長 谷	外来手術 (予約のみ)	長 谷	外来手術 (予約のみ)	長 谷	外来手術 (予約のみ)	長 谷	摂食嚥下 外 来 (予約のみ)		
	歯科口腔外科	小 山		小 山		小 山		小 山					
	歯科口腔外科	根 上		根 上		根 上		根 上					
	歯科口腔外科	大学医				大学医				大学医			
受付 A 2 Tel52-8702	整形外科 1	西 村	手 術		手 術 装具外来 14：00～15：00		手 術		手 術	西 村	手 術 装具外来 13：30～15：00		
	整形外科 2	伊 井 (初診)		伊 井 (初診)		岡 山 (初診)		岡 山 (脊椎専門)		伊 井 (関節専門)			
	整形外科 3	岡 山		大 成		大 成		西 村 (初診)		大 成 (初診)			
	小児発達支援									八幡(第4) 13：30～15：00			
受付 B 1 Tel52-8703	消化器内科	高 畠	手術・検査	中 村	手術・検査	中 村	高 畠	谷内15：00～16：30 (予約・紹介のみ)	大学医	吉 尾	手術・検査		
	皮膚科 1	谷 内		谷 内		谷 内				武 原		武 原	
	皮膚科 2	大学医		武 原		武 原				武 原		武 原	
	形成外科 1	島 田		小 林		島 田				小 林		島 田	
	形成外科 2	小 林		島 田		手 術 13：30～17：00				手 術 13：00～17：00		手 術 13：00～17：00	小 林
	美容外科			島 田 13：30～17：00									島 田 ▼ (第1金曜)
受付 B 2 Tel52-8703	内科 1（初診）	泉 谷	当番医 (紹介のみ)	真 智	当番医 (紹介のみ)	大学医	当番医 (紹介のみ)	山 端	当番医 (紹介のみ)	中 島	当番医 (紹介のみ)		
	内科 2			山 端				吉 村					
	内科 3	真 智		高 畠		山 端		吉 尾		泉 谷			
	内科 4	横 山		中 島		横 山		中 島					
	循環器内科 1	村 田		村 田		村 田		村 田		村 田			
	循環器内科 2	中 野		八重樫		中 野		八重樫		中 野			
受付 C 1 Tel52-8704	脳神経内科 1	町 谷 予約のみ		町 谷 予約のみ		町 谷 予約のみ		町 谷 予約のみ		(町 谷) 往 診			
	脳内・血液				細 川 (血液内科)				大学医 第1・3（予約）				
	耳鼻咽喉科 1	熊 井	熊 井 14：30～16：30	坂 本	熊 井	熊 井 初診10：00まで 加 納 初診10：00まで	手術・検査	熊 井 初診10：00まで	手術・検査				
	耳鼻咽喉科 2	加 納	加 納 14：30～16：30	加 納	加 納 初診10：00まで								
受付 C 2 Tel52-8704	脳神経外科 1	圓 角 (初診)		吉 田 (初診)		圓 角 (初診)		吉 田 (初診)		喜 多 (初診)			
	脳神経外科 2	吉 田		圓 角		喜 多		喜 多		圓 角			
	眼科	佐 伯		佐 伯		佐 伯		佐 伯		佐 伯			
受付 D 1 Tel52-8705	泌尿器科 1	南／大学医	手 術	上 木	手 術	南	検査処置 入院検査 他科回診	上 木	手 術	額 額	検査処置 入院検査 他科回診		
	泌尿器科 2	大学医 (初診)	入院検査	額 額 (初診)	入院検査	上 木 (初診)		大学医 (初診)	入院検査	南 (初診)			
	小児科 1	五十嵐		和 田	1ヵ月健診	和 田	中村（心臓） 第2第4	竹 中	池 野	和 田			
	小児科 2	池 野		竹 中		池 野	池 野 (発達)	池 野	竹 中	五十嵐			
受付 D 2 Tel52-8705	産婦人科 1	大学医 (柴田)	手 術	富 澤 予約のみ	1ヵ月健診	大学医 (高倉)				大学医 (高木)	手 術		
	産婦人科 2	富 澤			助産外来	富 澤		富 澤 予約のみ	富 澤 予約のみ	富 澤			
精神 センター Tel52-6619	精神科 1					宮 下		宮 下					
	精神科 2	平 松	平 松 13：30～15：00	平 松				平 松		平 松			
	精神科 3	小 坂		小 坂		小 坂				小 坂			
	精神科 4	古 谷		姥 浦		古 谷		古 谷		姥 浦			
健診部		内科医師		内科医師		内科医師		内科医師		内科医師			
放射線科		中 村（月～金）・大 磯（月～金）											
		萱 野（核医学）				南（血管内治療） 滝（核医学）			高 松（放射線治療）				
能登島 診療所 Tel84-1014	外来（内科）	山 下	真 智	山 下	真 智	休 診			真 智	真 智	山 下	休 診	
	禁煙外来（要予約）		○		○				○	○	※山下（鉦打診療所） 13:30～16:30（要事前連絡tel84-1014）		
	訪問診療		山 下		山 下					山 下			

TELは外線番号 作業療法:1か月に1回 生田

●外来診療受付(平日の時間内)

※再来受付機の受付開始時間は予約時間の90分前からとなっております。

一般診療受付 午前8時30分~午前11時30分

但し、診療科によって受付時間が異なる場合もありますので、ご注意ください。